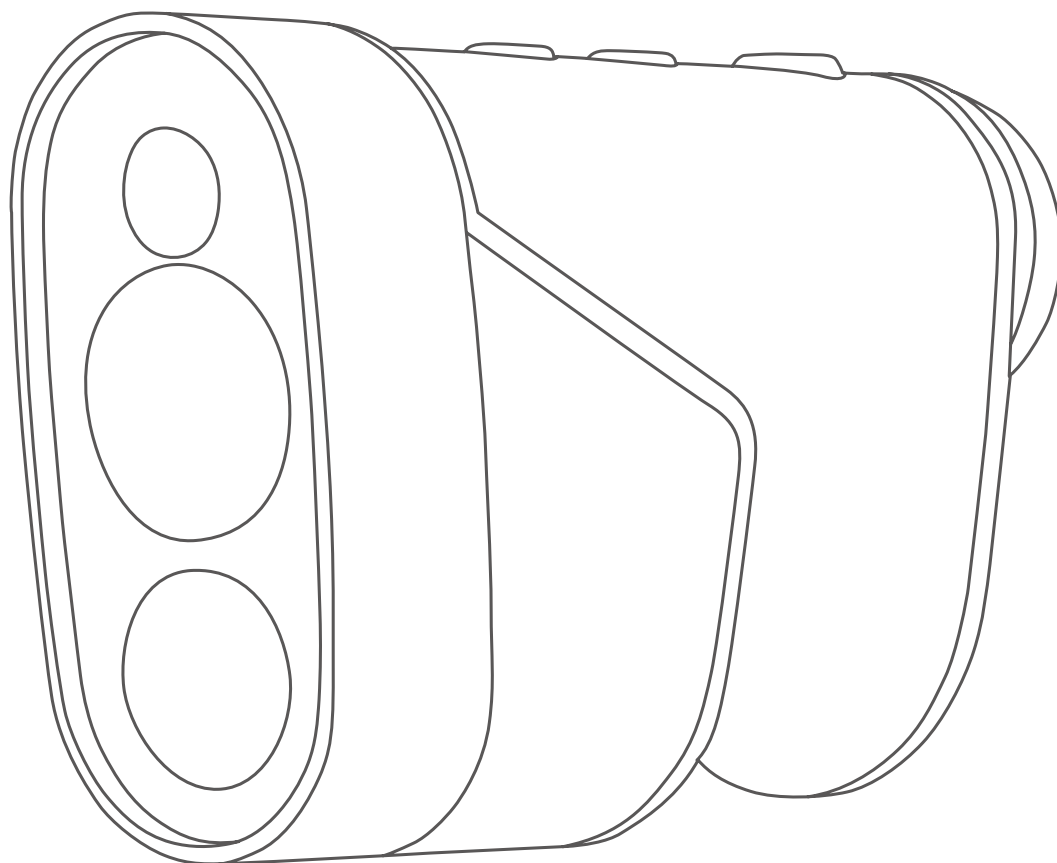


GARMIN®



APPROACH Z82

操作マニュアル

© 2020 Garmin Ltd. or its subsidiaries

本操作マニュアルの内容の一部または全部を当社の承諾なしに転載または複製することはできません。

本操作マニュアルの内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

製品に関する最新・補足情報については、Garmin.co.jp にアクセスしてください。

Garmin、Garmin ロゴ、Approach は、米国またはその他の国における Garmin 社の登録商標です。Garmin Golf および Garmin Express は Garmin 社の商標です。Garmin 社の許可を得ずに使用することはできません。

Apple® は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。BLUETOOTH® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Garmin 社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

M/N : A03831

目次

はじめに	1
レーザーに関する警告	1
レーザーに関する注意	1
デバイス概要	1
ステータス LED	1
デバイスを充電する	2
安定した信号伝送のために	2
デバイスの充電中に電源をオフにする	2
初期設定	2
スマートフォンとペアリングする	2
ソフトウェアアップデート	3
Garmin Express をセットアップする	3
Garmin Express でソフトウェアをアップデートする	3
コースマップのアップデート	3
スタンバイモード	3
接眼レンズを調整する	3
スマートフォン連携機能	4
Garmin Golf アプリ	4
Bluetooth 設定	4
Bluetooth 接続をオフにする	4
ゴルフ	4
ラウンドを開始する	4
18 ホールコースでプレーする	4
9 ホールコースでプレーする	4
バックナインを追加する	5
ピンまでの距離を測定する	5
ショット飛距離を計測する	5
ホール情報表示	5
プレーライク距離（高低差情報）を確認する	6
ハザード情報 / レイアップ距離を確認する	6
ピンの方向を確認する	6
トーナメントモードを有効にする	6
グリーンを変更する	7
ホールを変更する	7
スコアを記録する	7
ラウンド概要記録	7
ラウンド概要記録を有効にする	7
ラウンド概要を記録する	7
ラウンドを終了する	7
距離を測定する	8
ターゲットまでの距離を測定する	8
距離の測定を終了する	8
設定	8
デバイス設定	8
コンパスを校正する	9
システム設定	9
デバイス情報	9
仕様	9
お取り扱い上の注意事項	9
クリーニング方法	9
長期間の保管	9
カラビナクリップを取り付ける	10

電子ラベルの規制および準拠情報	10
トラブルシューティング	10
測定した距離が正しくないようです	10
GPS を受信できません	10
現在地に近いゴルフコースが表示されません	10
USB 接続時の取り外し方法	10
工場出荷時の状態に戻す	11
デバイスに関するその他の情報	11

はじめに

△ 警告

本製品を安全にご使用いただくために、同梱のクイックスタートマニュアル「安全および製品に関する警告と注意事項」を必ずお読みください。

次に示される警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うおそれがあります。

レーザーに関する警告

このデバイスは定期的なメンテナンスは不要です。デバイスが破損したり、動作しない場合は、専門の技術者による修理や点検が必要です。

ご自身でデバイスの分解や修理をすると、レーザー光の照射によって視力障害などを引き起こすおそれがあります。修理や点検については、サポートセンターにご連絡ください。

クラス 1 のレーザー製品の被爆放出限界 (AEL) を超えるレーザー光の照射を防ぐために、デバイスには保護筐体があります。デバイスを改造したり、保護筐体や光学部品がない状態で動作させないでください。保護筐体や光学部品がない状態になったり、あるいは改造した保護筐体や光学部品を使用したことでレーザー光源がむき出しの状態になると、レーザー光の照射によって視力障害などを引き起こすおそれがあります。ディフューザーを取り外したり、改造すると、視力障害などを引き起こすおそれがあります。

△ 注意

次に示される注意に従わなかった場合、軽度あるいは中程度の傷害を負うおそれがあります。

レーザーに関する注意

デバイスはレーザー光を放出しています。本書に書かれた以外の方法で使用すると、レーザー放射が人体へ影響を及ぼすおそれがあります。

このレーザー機器は、すべての使用手順においてクラス 1 に指定されています。デバイスで距離を測定しているときは、レーザー発振器からレーザー光が照射されますので、デバイスを人に向けて使わないでください。デバイスを使用しているときは、レーザー放出口をのぞき込んだり、レーザー光を見ないでください。デバイスを使用しないときは電源をオフにします。デバイスをご使用の際は、操作マニュアルに記載された説明や手順に従ってください。

デバイスはお子様の手の届かないところに保管してください。

デバイス概要



①	△	押す：メニューの表示、メニューオプションのスクロール
②	▽ / 電源	押す：電源オン、メニューの表示、メニューオプションのスクロール 長押し：電源オフ
③	トーナメントモード LED	トーナメントモードのステータスを確認します。
④	⊖	押す：距離の測定（ラウンド中はフラッグファインダー機能が自動で開始）、メニューオプションの選択
⑤	視度調整リング	視度調整リングを回して、画面の焦点を合わせます。
⑥	ステータス LED	デバイスとバッテリーのステータスを確認します。
⑦	防水カバー microUSB の接続端子 (防水カバー内)	防水カバーを外して microUSB の接続端子を利用します。 互換性のある USB ケーブルを接続すると、デバイスの充電や PC でのソフトウェア更新などができます。
⑧	製品ラベル	製造番号や安全規格が記載されています。

ステータス LED

LED 動作	ステータス
青色点灯 (電源を入れてから約 5 秒間)	電源がオンになりました。
赤色と青色が交互に点滅 (電源を入れてから約 5 秒間)	バッテリー残量低下
消灯	デバイスを使用可能な通常の状態
ゆっくり青色点滅	スタンバイモード
赤色点灯 (電源オフのボタンを長押しした後)	電源がオフになりました。
速い赤色点滅 (電源接続中)	電源オフの状態充電中

LED 動作	ステータス
青色点灯中に赤色点滅 (電源接続中)	充電中
赤色点灯 (電源接続中)	充電完了
ゆっくり赤色点滅	ソフトウェアアップデート中

デバイスを充電する

警告

本製品は、リチウムイオン電池を内蔵しています。バッテリーが高温にさらされると、使用者がけがを負ったり、デバイスが破損するおそれがあります。デバイスは直射日光の当たらない場所に保管してください。

注意

さびや腐食を防ぐため、充電または PC への接続を行う前に USB ポートや防水カバーに付着した水分はよく拭き取ってください。

本製品は、リチウムイオン電池を内蔵しています。PC の USB ポートに接続するか、または AC アダプター (別売) を使用して一般の家庭用コンセントから充電します。

注意 充電温度範囲外の環境では充電できません。

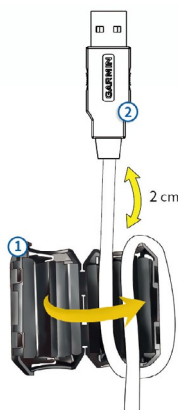
参照 9 ページ 仕様

- 1 USB ポートの防水カバーを外します。
- 2 チャージングケーブルの小さい方の USB 端子をデバイスの USB ポートに差し込みます。
- 3 チャージングケーブルの大きい方の USB 端子を、PC の USB ポートまたは AC アダプター(別売)などに差し込みます。
- 4 充電が完了するまで待ちます。

ヒント 充電を早く完了させるためには、電源オフの状態で充電してください。

安定した信号伝送のために

チャージングケーブルを使用するときは、フェライットビーズ①をケーブルのプラグ部②から約 2 cm 離れた位置に取り付けてからご使用ください。



注意 ・フェライットビーズはチャージングケーブルの USB プラグ側に取り付けてください。フェライットビーズには、電磁干渉 (ノイズ) を除去する効果があります。フェライットビーズを取り外したり、取り付け位置を動かしたりしないでください。

・フェライットビーズは台湾および韓国における当製品の認可を目的としています。

デバイスの充電中に電源をオフにする

充電中に、デバイスのディスプレイと他のすべての機能をオフにできます。

- 1 デバイスを外部電源に接続します。
- 2 ▽ を 4、5 秒間長押しします。
ディスプレイがオフになり、デバイスはバッテリー充電モードになります。また、ステータス LED は、速く赤色点滅します。
- 3 デバイスを完全に充電します。

初期設定

初めてデバイスの電源を入れたときは、初期設定を行う必要があります。

- 1 ▽ を押します。
デバイスの電源がオンになります。
 - 2 言語を選択します。
 - 3 距離計測の単位を選択します。
[ヤード] または [メートル] から選択します。
 - 4 ドライバー飛距離を選択します。
△ または ▽ で数値を増減します。
 - 5 視度調整リングを調整します。
画面の指示に従い、操作します。
 - 6 スマートフォンとペアリングしますか？
・[いいえ]：ペアリングせず初期設定を終了します。
・[はい]：スマートフォンとのペアリングを開始します。
- 参照** 2 ページ スマートフォンとペアリングする
- ヒント** スマートフォンとペアリングすると、風速 / 風向き情報、スコアカードの同期などの機能が利用できるようになります。
- 7 初期設定が完了すると、[ラウンド開始] に表示が切り替わります。

スマートフォンとペアリングする

デバイスの機能を最大限活用するには、スマートフォンなどのモバイル端末とデバイスをペアリングする必要があります。

参照 4 ページ スマートフォン連携機能

ペアリングには、Garmin Golf アプリを使用します。スマートフォンの Bluetooth® 接続設定からペアリングすることはできません。

- 1 お使いのスマートフォンに対応するアプリストアから、Garmin Golf アプリをダウンロードします。インストール完了後、アプリを起動します。
- 2 デバイスとスマートフォンを 10m 以内に近づけます。
- 3 次のいずれかの方法でデバイスをペアリングモードにします。
 - ・初期設定 手順 6 「スマートフォンをペアリングしますか？」で [はい] を選択
 - ・[設定] > [Bluetooth] > [ペアリング] の順に選択

- Garmin Golf アプリで、☰ または ⋯ から [Garmin デバイス] > [デバイス追加] の順に選択し、アプリの画面の指示に従ってペアリングを完了させます。
ペアリング完了後、デバイスのデータがスマートフォンに同期されます。

ソフトウェアアップデート

デバイスをより快適にご利用いただくために、デバイスのソフトウェアは常に最新の状態にアップデートしてください。アップデートは、Garmin Express または Garmin Golf アプリで行うことができます。

ヒント Garmin Express は PC 向け、Garmin Golf はスマートフォンなどのモバイル端末向けのアプリケーションです。

Garmin Express をセットアップする

- 付属の充電ケーブルを使用して、デバイスを PC に接続します。
- Garmin.com/ja-JP/software/express/ にアクセスします。
- 画面に表示される指示に従ってソフトウェアをダウンロードの上、実行します。

Garmin Express でソフトウェアをアップデートする

事前に Garmin Express を PC にインストールする必要があります。

参照 [3 ページ](#) [Garmin Express をセットアップする](#)

- 付属の充電ケーブルを使用して、デバイスを PC に接続します。
- PC で Garmin Express を起動します。
利用可能な更新ソフトウェアがある場合、Garmin Express からデバイスに更新データを送信できます。
- デバイスを PC から取り外します。
- 画面に表示される指示に従い、ソフトウェアを更新します。

コースマップのアップデート

Garmin Express でデバイスのゴルフコース情報を最新の状態にアップデートすることができます。アップデートについては詳しくは Garmin.com/ja-JP/maps/updates/golf をご参照ください。

注意 海外のゴルフコースでプレーする場合は、必ず事前にゴルフコースを更新してください。また、プレーされる地域のゴルフコースがインストールされていることを確認してください。

スタンバイモード

バッテリーの消費を抑えるために、使用していない間は、デバイスがスタンバイモードになります。いずれかのボタンを押すか、デバイス下部のくぼんだ部分を手で持つと、デバイスが起動します。



接眼レンズを調整する

デバイスには接眼レンズを調整する機能が付いています（視度調整範囲：-4 ~ +4）。視度を調整することで、使用する方の視力に合った状態になります。

- 視度調整リングを回しながら、画面の焦点を合わせます。

スマートフォン連携機能

スマートフォンなどのペアリング済みモバイル端末との連携機能をご利用いただけます。

参照 2ページ スマートフォンとペアリングする

ヒント スマートフォンとの連携機能は Bluetooth 接続が有効な場合のみご利用いただけます。

Garmin Golf アプリ

Garmin Golf アプリを利用すると、対応する Garmin デバイスからスコアカードをアップロードして、詳細な統計データやショット分析を表示できます。また、異なるコース間でもプレイヤー同士で競い合うことができます。誰でも参加可能なウィークリーリーダーボードが 41,000 コース以上用意されています。ユーザーは自由にトーナメントイベントを設定して、プレイヤーを招待することができます。

Garmin Golf アプリのデータは、Garmin Connect に同期されます。Garmin Golf アプリは、スマートフォンのアプリストアからダウンロードすることができます。

Garmin Golf アプリを使用してデバイスとスマートフォンをペアリングすると、次の機能を利用できます。

スコアカードのアップロード

デバイスを Garmin Golf アプリに同期すると、スコアカード情報が Garmin Golf アプリにアップロードされます。統計データの詳細を確認したり、オンラインリーダーボードに参加できます。

風速と風向き

ホール情報表示に風速と風向きを表示します。風向は、ピン位置の方向を基準に表示されます。

ヒント 風速と風向きは、Garmin Golf アプリを介して取得した天気情報に基づいて表示されます。ペアリング済みのスマートフォンの Garmin Golf アプリとの Bluetooth 接続がオンのとき、情報は 10 分おきに更新されます。

デバイス探索

手元から見失ってしまった Approach Z82 をスマートフォンで探索します。最後にデバイスと通信したときの位置情報を表示します。

Bluetooth 設定

Bluetooth 接続をオフにする

1 [設定] > [Bluetooth] の順に選択します。

2 [ステータス] の右側のスイッチを **!** (オフ) に設定します。デバイスの Bluetooth 接続がオフになります。

ヒント スマートフォンの Bluetooth 設定については、お持ちのスマートフォンの操作マニュアルをご参照ください。

ゴルフ

ラウンド中に利用できる機能について説明します。

ゴルフ練習場など、ゴルフコース以外でデバイスを使用する場合は **8 ページ** をご参照ください。

ヒント 弊社が提供するゴルフコース情報は、各ゴルフクラブより提供されたコース情報をもとに作成しています。常に最新の情報を提供できるよう努めておりますが、万が一ゴルフコースデータを最新バージョンにアップデートしても実際のコースと異なるデータが表示される場合は、弊社ホームページの専用フォーム「ゴルフコースリクエスト」 (Garmin.co.jp/garmin-golf/) より情報をお寄せください。

ラウンドを開始する



ヒント GPS の位置情報をもとに、選択したコースの現在地に近いホールが表示されます。そのため、スタートするホールのティーングエリアで下記の手順を実施すると、最初のホールがすぐに表示されるので便利です。

18 ホールコースでプレーする

1 [ラウンド開始] を選択します。

2 上空の開けた屋外で静止して、GPS を受信します。受信完了まで 30 ~ 60 秒ほどかかります。

3 GPS の受信が完了し、現在地が特定されます。コースが一覧で表示されたら、一覧からプレーするコースを選択します。

ヒント 2 グリーンのコースの場合、プレー当日のグリーンを選択します。

9 ホールコースでプレーする

アジア地域では、スペースや地形の関係で、9 ホールのゴルフコースが他の地域より多い傾向があります。同じゴルフ場の 2 つの 9 ホールコースを一つのラウンド (18 ホール) として表示、記録できます。

1 [ラウンド開始] を選択します。

2 上空の開けた屋外で静止して、GPS を受信します。受信完了まで 30 ~ 60 秒ほどかかります。

3 GPS の受信が完了し、現在地が特定されます。コースが一覧で表示されたら、一覧からプレーするコースを選択します。

4 次のオプションを選択します。

• [9 ホール] ハーフプレーとしてラウンドを開始します。(手順 6 へ)

• [18 ホール] 2 つの 9 ホールコースを一つのラウンドとしてプレー表示、記録します。後半の 9 ホールを選択してからラウンドを開始します。(手順 5 へ)

ヒント あとで後半の 9 ホールを選択する場合は、[9 ホール] を選択してください。

- 5 画面の指示に従って、後半の9ホールを選択します。
- 6 ティー位置を選択します。
手順4で[18ホール]を選択した場合は、後半のティー位置も選択します。
- 7 ホール情報が表示されたら、ラウンドを開始します。

バックナインを追加する

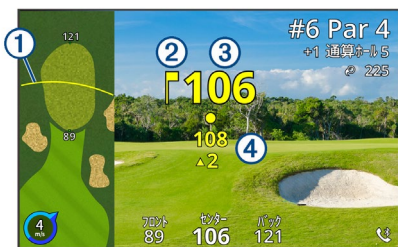
ラウンド開始時に後半の9ホールコースを選択しなかった場合は、以下の手順で追加できます。

- 1 ラウンド中に△または▽を押してメニューを表示します。
- 2 [バックナインを追加]を選択します。
- 3 上空の開けた屋外で静止して、GPSを受信します。
受信完了まで30～60秒ほどかかります。
- 4 現在地に近い9ホールのコースが一覧で表示されます。
一覧からプレーするコースを選択します。
- 5 後半のコースのティー位置を選択します。
- 6 ホール情報が表示されたら、ラウンドを再開します。
選択したコースが同じラウンドの10ホール目からとして表示されます。

ピンまでの距離を測定する

フラッグファインダー機能を使うと、ピンフラッグをターゲットとして現在の位置からピンまでの距離を測定できます。

- 1 ゴルフのラウンドを開始します。
- 2 距離計の照準マークをピンフラッグに合わせます。
注意 ・デバイスを手に向けて使用しないでください。
・正確な結果を得るために、デバイスをしっかり固定して、照準マークをピンフラッグに合わせてください。
- 3 ⊖を押します。
照準マーク（赤い円）を合わせた位置までの距離が表示されます。
ピンフラッグに照準が合うと、デバイスが振動してフラッグアイコンが表示され、照準マークが黄色に変わります。また、ホール情報表示はグリーン拡大表示に切り替わります。



①	対象物までの水平距離範囲（③と同じ距離線） 黄色：グリーン周辺の対象物の場合 赤色：フェアウェイ周辺の対象物の場合
②	フラッグアイコン
③	対象物までの直線距離
④	プレーライク距離（6ページ）

注意 ・計測対象物がグリーンと同じ距離範囲にある場合に、フラッグアイコンが表示されます。そのため、ピンフラッグ以外の対象物に照準を合わせたときでも、フラッグアイコンが

表示される場合があります。

- ・コースマップ上の黄色の線は、レーザーで計測したピンフラッグまでの水平距離と同程度の距離線です。測定位置（デバイスを持つ高さ）とピンフラッグの間に高低差があるときは、線の位置とレーザー計測距離の数値にずれが生じる場合があります。ピンフラッグ以外の場所に照準を合わせたときに表示される赤色の線についても、同様の現象が起る場合があります。

ヒント 照準をグリーン以外に合わせて⊖を押すと、ホール全体の表示に戻ります。

ショット飛距離を計測する

ピンフラッグまでの距離を測定すると、現在の位置情報がデバイスに記録されます。同じホールで複数回実施した場合、連続した実施地点間の距離をショット飛距離として表示します。

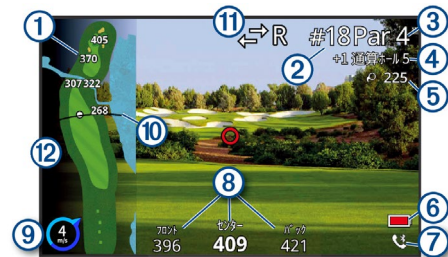
- ヒント** ・この機能は、[設定]>[自動ショット計測]がオンのときのみ有効です。
・ショット位置以外でも距離測定を行う場合などは、ショット位置を手動で保存することでショット飛距離を計測できます。[設定]>[自動ショット計測]をオフにし、ショット位置ごとにメニューの[ショットの計測]を選択してください。

- 1 ショットを打つ地点からピンまでの距離を測定します。
参照 5ページ [ピンまでの距離を測定する](#)
- 2 ショットを打ちます。
- 3 ボールの落下地点まで移動し、ピンまでの距離を測定します。
実施地点間の距離がショット飛距離として表示されます。
注意 再度ピンまでの距離を測定すると、直前に計測した飛距離はリセットされます。

ホール情報表示

現在プレー中のホールの情報が表示されます。コースマップ表示は、次のホールに移動すると自動でホールが切り替わります。

ヒント GPSの位置情報をもとに、選択したコースの現在地に近いホールが表示されます。



①	フェアウェイの開始位置までの距離、ハザードの手前、奥までの距離 (コースマップ上にあるすべてのポイントまでの距離が表示されるわけではありません)
②	現在のホール番号
③	現在のホールのパー数
④	現在のスコア（7ページ）
⑤	直前の距離測定実施地点からの移動距離（5ページ）
⑥	バッテリー残量警告
⑦	Bluetooth 接続ステータス

⑧	グリーンの手前、中央、奥までの距離
⑨	風速と風向き (4 ページ)
⑩	ティーイングエリアからのドライバーの飛距離
⑪	選択されたグリーン (7 ページ) (2 グリーンのホールの場合) L: 左グリーン、R: 右グリーン
⑫	コースマップ

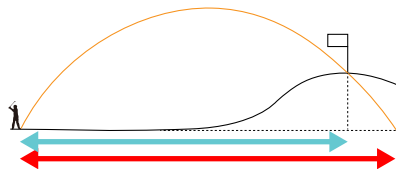
プレーライク距離 (高低差情報) を確認する

プレーライク距離の機能を使うと、コースの高低差を考慮したピンまでの実際に打つべき推奨距離を表示できます。

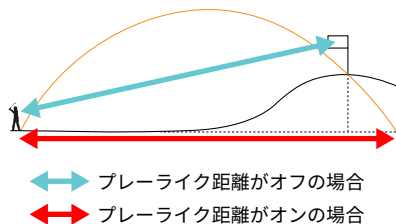
プレーライク距離がオフの場合は、ピンまでの水平距離またはレーザー計測の対象物までの直線距離が表示されます。

注意 トーナメントモードをオンにすると、プレーライク距離の機能は使用できません。

コースマップ



レーザー計測



1 △ または ▽ を押してメニューを表示します。

2 [プレーライク距離] を選択します。

⊖ を押して、右側のスイッチの **●** (オン) / **○** (オフ) を切り替えます。



①	ピンまでの距離 (直線距離)
②	ピンまでのプレーライク距離 打つべき推奨距離が表示されます。
③	ピンまでの高低差 ▲: ピン位置が現在地より高い ■: ピン位置と現在地が水平 ▼: ピン位置が現在地より低い

ヒント 画面中央の黄色の数値はレーザー計測値です。ピンまでの高

低差は、デバイスを持つ高さと同標位置 (照準を合わせるポイント) によって決まります。GPS 位置情報と地図データをもとに算出された距離 (画面下部およびコースマップ上の白色の数値) とは一致しない場合があります。

ハザード情報 / レイアアップ距離を確認する

現在プレー中のホールにあるハザードやレイアアップポイントを確認できます。

1 △ または ▽ を押してメニューを表示します。

2 [ハザードとレイアアップ] を選択します。

3 ハザードの手前 / 奥までの距離、レイアアップポイントまでの距離が表示されます。△ または ▽ を押すと、情報を表示するハザード、レイアアップポイントを切り替えられます。

ピンの方向を確認する

ピンポインター機能は、グリーンが見えない位置からショットを打つ際に便利な機能です。この機能を使うと、林の中や深いバンカーでもショットを打つ方向が分かります。

注意 ・ゴルフカートに乗っているときは、ピンポインター機能を使用しないでください。ゴルフカートの磁気がコンパスの精度に影響をおよぼすおそれがあります。

・トーナメントモードをオンにすると、ピンポインター機能は使用できません。

ヒント ピンポインターが正常に機能しない場合は、コンパス校正を実施してください。(9 ページ)

1 △ または ▽ を押してメニューを表示します。

2 [ピンポインター] を選択します。



コンパスの矢印がピンの方向を指し示します。また、ファイナダー内のコースマップ上でもピンの方向を確認できます。

ヒント いずれかのボタンを押すと、ホール情報表示に戻ります。

トーナメントモードを有効にする

トーナメントモードをオンにすると、ピンポインター機能およびプレーライク距離機能がオフになります。公認のゴルフトーナメントやハンディキャップを算出するラウンドでは、規定によりピンポインター機能およびプレーライク距離機能は使用できません。

1 △ または ▽ を押してメニューを表示します。

2 [設定] > [トーナメントモード] の順に選択し、**●** (オン) に設定します。

トーナメントモード中は、デバイス上部のトーナメントモード LED が青色に点灯します。

グリーンを変更する

2 グリーンのコースの場合は、プレーするホールの左右グリーンを切り替えることができます。

- 1 △または▽を押してメニューを表示します。
- 2 [グリーン変更]を選択します。
グリーンが変更され、もう一方のグリーンが表示されます。

ホールを変更する

ホール情報表示からホールを手動で変更できます。

- 1 △または▽を押してメニューを表示します。
- 2 [ホール変更]を選択します。
- 3 ホールを選択します。

スコアを記録する

ヒント ラウンド概要記録をオンにすると、パット数、ショット方向なども入力できます。


参照 [7ページ](#) ラウンド概要記録

- 1 △または▽を押してメニューを表示します。
- 2 [スコアカード]または[スコア記録開始]を選択します。
- 3 △または▽を押してスコアを記録するホール番号を選択し、⊖を押します。
- 4 △または▽を押してスコアを入力します。
- 5 いずれかのボタンを押して終了します。

ラウンド概要記録

ラウンド概要記録をオンに設定すると、ラウンドの情報をより詳細に記録することができます。記録した情報は Garmin Golf アプリで統計データとして確認することができます。

ラウンド概要記録を有効にする

- 1 △または▽を押してメニューを表示します。
- 2 [設定]を選択します。
- 3 [ラウンド概要]の右側のスイッチを  (オン) に設定します。

ラウンド概要を記録する

ラウンド概要を記録するには、あらかじめラウンド概要記録をオンにする必要があります。

- 1 △または▽を押してメニューを表示します。
- 2 [スコアカード]または[スコア記録開始]を選択します。
- 3 △または▽を押してスコアを記録するホール番号を選択し、⊖を押します。
- 4 △または▽を押して全ストローク数を入力し、⊖を押します。
- 5 ショット方向を選択します。

ヒント パー3のホールでは、ショット方向を選択する画面は表示されません。

- ティーショットでフェアウェイをキープした場合は、↑を選択します。
- ティーショットで左または右にミスショットした場合は、↶または↷を選択します。

- 6 △または▽を押してパット数を入力し、⊖を押します。

ラウンドを終了する

- 1 △または▽を押してメニューを表示します。
- 2 [終了]を選択します。

ヒント スコアカードを記録していた場合は、スコアを確認のうえ、[保存]を選択して終了します。

距離を測定する

ホール情報表示などのラウンド中メニューを使用しない距離測定機能について説明します。

ゴルフコース内でデバイスを使用する場合は [4 ページ](#) をご参照ください。


ターゲットまでの距離を測定する

ゴルフ練習場などで、現在の位置からターゲットまでの距離を測定できます。距離の測定でも、プレーライク距離 (高低差情報) を表示できます。



- 注意**
- ・デバイスを人に向けて使用しないでください。
 - ・測定できる距離は、5.5～450 ヤード (5～411 メートル) です。

参照 [6 ページ](#) プレーライク距離 (高低差情報) を確認する



- 1 [距離計測] を選択します。
- 2 距離計の照準マークをターゲットに合わせます。
- 3  を押します。
測定結果が表示されます。












距離の測定を終了する

- 1  または  を押してメニューを表示します。
- 2 [終了] を選択します。

設定

デバイス設定



- 1 [設定] を選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - [戻る]
前の画面に戻ります。
 - [Bluetooth]
Bluetooth 接続に関する設定を行います。
参照 [2 ページ](#) スマートフォンとペアリングする
[4 ページ](#) Bluetooth 接続をオフにする
 - [トーナメントモード]
トーナメントモードをオンにすると、ピンポインターとプレーライク距離の機能が無効になります。これらの機能は、公認トーナメントやハンディキャップを算出するラウンドでは使用できません。
 を押して、右側のスイッチの  (オン) /  (オフ) を切り替えます。
参照 [6 ページ](#) トーナメントモードを有効にする
 - [ラウンド概要記録]
フェアウェイキープ率やパット数などのラウンド概要を記録します。 を押して、右側のスイッチの  (オン) /  (オフ) を切り替えます。
参照 [7 ページ](#) ラウンド概要記録
 - [自動ショット計測]
ショットの飛距離を計測します。 を押して、右側のスイッチの  (オン) /  (オフ) を切り替えます。
参照 [5 ページ](#) ショット飛距離を計測する
 - [ドライバー飛距離]
ドライバーの平均飛距離を設定します。ドライバー飛距離はティーイングエリアにいるとき、ファインダー内のコースマップに黒色の線が表示されます。
 または  で数値を増減します。
 - [コンパス校正]
コンパスを手動で校正します。
参照 [9 ページ](#) コンパスを校正する
 - [性別]
性別を登録します。登録情報をもとにハンディキャップ数やパー数を表示します。
 - [システム]
システムに関する設定を行います。
参照 [9 ページ](#) システム設定
 - [デバイス情報]
デバイス情報を表示します。
参照 [10 ページ](#) 電子ラベルの規制および準拠情報

コンパスを校正する

注意 電子コンパスの校正は、自動車やビルの近く、頭上に電線のある場所など磁気を帯びた場所を避け、屋外で実施することをお勧めします。

コンパスは常に自動校正されていますが、長距離の移動後や極端な温度変化があった場合には手動で校正を行ってください。

- 1 [設定] > [コンパス校正] の順に選択します。
- 2 画面の指示に従い、コンパスを校正します。

システム設定

システムに関する設定を行います。

- 1 [設定] > [システム] の順に選択します。
 - 2 次のオプションを選択します。
 - [戻る] 前のページに戻ります。
 - [言語] 言語を選択します。

ヒント コースマップデータおよび任意で登録したデータの言語は切り替わりません。
 - [単位]
 - [ゴルフ距離単位] [ヤード] または [メートル] を選択します。
 - [風速] [mph]、[m/s]、[km/h] から選択します。
 - [時間表示] [12時間] または [24時間] から選択します。
 - [バックライトレベル]
 - バックライトの輝度を [高] [中] [低] から選択します。
 - [オートスタンバイ]
 - スタンバイモードへの移行時間を [10秒] [15秒] [20秒] から選択します。
- 参照** 3 ページ [スタンバイモード](#)
- [リセット] データや設定のリセットを行います。
- 参照** 11 ページ [工場出荷時の状態に戻す](#)

デバイス情報

仕様

バッテリータイプ	充電式リチウムイオン電池
稼働時間	最大 15 時間 *1
防水性能	IEC60529 IPX7 *2
動作温度範囲	-10 ~ 55°C (内部温度が動作温度範囲を超えると自動的にシャットダウンされます。)
充電温度範囲	10 ~ 45°C

製品の仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

*1 バッテリー稼働時間は、Garmin のテスト環境下での標準値です。実際のバッテリー稼働時間は、内部センサー、各種機能の利用状況やデバイスの使用環境により異なります。

*2 詳しくは Garmin.co.jp/water-rating をご参照ください。

お取り扱い上の注意事項

注意

高温になるおそれがある場所でデバイスを長期間保管しないでください。デバイスの故障の原因となる可能性があります。

化学洗剤や溶剤、防虫剤はデバイスのプラスチック部や塗装を傷めるおそれがあるため使用しないでください。

USB ポートの損傷を防ぐために、防水カバーはしっかりと閉めてください。

デバイス本体に日焼け止めクリーム等が付着すると、外装の劣化および破損につながるおそれがあります。

クリーニング方法

注意

乾いた布でレンズを拭かないでください。乾いた布で拭くとレンズを傷めるおそれがあります。

化学洗剤や溶剤はデバイスのプラスチック部や塗装を傷めるおそれがあるため使用しないでください。

- 1 水またはアルコールで湿らせた柔らかい布で、レンズとデバイスを拭きます。
- 2 デバイスは乾いた布で水分を拭き取り、レンズは自然乾燥させます。

長期間の保管

デバイスを数カ月間使用しない場合は、保管する前にバッテリーを 50% 以上充電します。デバイスは、高温多湿の場所を避けて保管してください。長期保管後は、使用する前にデバイスを充電してください。

カラビナクリップを取り付ける

- 1 キャリーケースのマウントアングルの溝にカラビナクリップを挿入します。



- 2 しっかり固定される位置までカラビナクリップをスライドさせます。

電子ラベルの規制および準拠情報

ユニット ID、ソフトウェアバージョン、規制情報、ライセンス情報などのデバイス情報を確認します。

- 1 [設定] > [デバイス情報] の順に選択します。

トラブルシューティング

測定した距離が正しくないようです

測距精度は、環境光、気象条件、対象物の反射率、対象物のサイズなど、外部要因の影響を受けます。

- 曇りの日などの弱光条件下の場合、より長い距離を測定できません。明るい太陽光のもとでは測距機能が低下するおそれがあります。
- 雨天の場合、測距機能が低下するおそれがあります。
- 明るい色や反射率の高い対象物の場合、より長い距離を測定できます。黒い対象物は反射率が低いため、測定できる距離が短くなります。
- 大きな対象物の方が、小さな対象物よりも距離の測定が容易です。距離を測定する場合は、例えば、ピンではなくフラッグに照準を合わせてください。
- 対象物の反射面に対してレーザーの進入角度が垂直に近いほど、より長い距離を測定できます。レーザーの進入角度が小さいほど測距機能が制限されます。

GPS を受信できません

GPS を受信する際は、上空の開けた屋外に出る必要があります。日付と時刻は GPS 受信時に自動で設定されます。

- 1 GPS を受信する際は、上空の開けた屋外に出ます。
デバイスの上部（ボタンが3つある面）を空に向けます。
- 2 GPS を受信するまで待ちます。
通常、30 ～ 60 秒程度で受信完了します。

現在地に近いゴルフコースが表示されません

ゴルフコースのアップデートが中断またはキャンセルされた場合など、コースデータが正常にインストールされていない可能性があります。コースデータを正常に戻すには、コースデータを再度アップデートする必要があります。

- 1 Garmin Express からコースデータをインストールします。
[参照 3 ページ](#) [コースマップのアップデート](#)
- 2 チャージングケーブルをデバイス、PC から取り外します。
[参照 10 ページ](#) [USB 接続時の取り外し方法](#)
- 3 上空の開けた屋外に出て、テストのラウンドを開始して、現在地に近いコースが表示されるか確認してください。

USB 接続時の取り外し方法

チャージングケーブルでデバイスを PC に USB 接続をした場合の取り外し方法は、以下の手順に従ってください。ただし、デバイスが PC にポータブルデバイスとして認識されている場合は、以下の手順を行う必要はありません。

- 1 次の手順を完了させます。
 - Windows® の場合：システムトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンを選択 > デバイスを選択
 - Apple® の場合：デバイスを選択 > [ファイル] > [(デバイス名) を取り出す] を選択
- 2 チャージングケーブルを PC の USB 接続口から取り外します。

工場出荷時の状態に戻す

デバイスの全設定を工場出荷状態にリセットします。

注意 全設定リセットによりデバイスのすべての設定、ユーザー情報が消去されます。データ保護のため、Garmin Golf および Garmin Connect にデータをアップロードしてから実施してください。

1 [設定] > [システム] > [リセット] の順に選択します。

2 次のオプションを選択します。

• [設定リセット]

デバイスの全設定を工場出荷状態にリセットします。(スコアカードは保持されます。)

• [データ削除と設定リセット]

デバイスの全設定を工場出荷状態にリセットし、デバイスに保存されているすべてのデータを削除します。

3 画面の指示に従い、操作します。

4 設定がリセットされ、デバイスが再起動します。

再起動後は初期設定を行ってください。

参照 [2 ページ](#) 初期設定

デバイスに関するその他の情報

デバイスに関する最新・補足情報は、当社ウェブサイト ([Garmin.co.jp](https://www.garmin.co.jp)) をご参照ください。

サポートセンター <https://support.garmin.com/ja-JP/>

チュートリアルビデオ <https://bit.ly/37vTnx5>

Garmin.co.jp

ガーミンジャパン株式会社
〒 354-0036 埼玉県富士見市ふじみ野東 1 丁目 7 番地 6
Tel 0570-049530 (ナビダイヤル)
サポートセンター support.garmin.com



April 2020
190-02635-2D Rev.A

